

# 新型コロナウイルス 感染症対策へのご協力をお願いします。

自分と大切な人を守るため、  
手洗い、マスク着用、人混みを避ける等、  
感染拡大防止を全員で行いましょう。



## 社協からのお知らせ

### 原村ボランティア連絡協議会 加入者・団体 募集

ボランティア活動を進める団体及び個人の相互の連携と、資質向上を図ると共に活動を通じて住みよい村づくりを推進することを目的としています。現在34団体、2施設、個人12名が加入しています。

会費 なし  
※ボランティア保険加入希望者は1名につき年350円が必要になります。

加入方法：社協のボランティアコーディネーターと面談し申込書を提出します。

詳しくは 原村社会福祉協議会  
☎ 79-7228 担当/関 まで

お気軽に  
お問い合わせ  
ください！

### 寄付・物品お礼

ご厚意に深く感謝し、地域福祉向上のために活用させていただきます。記載の方以外にも匿名にて多くの物品を寄付いただきました。ご支援ありがとうございました。

期 間：令和2年1月1日～3月31日（順不同）  
寄付金：石山 進様 島田良子様  
物 品：小島教嗣様 他匿名希望者様  
タオル40枚/敷布団6枚・掛布団5枚  
さらし3反

### 心配事相談

開催日/毎月第1日曜日 13:30～17:00  
場所/地域活動支援センター2階相談室 相談員/野明 晃・五味勇吉

新型コロナウイルスの感染状況により中止する場合がございます。事前にご確認願います。連絡先：原村社会福祉協議会 ☎0266-79-7228

社協だより No.56 令和2年5月発行

編集・発行：社会福祉法人 原村社会福祉協議会  
長野県諏訪郡原村6649-3 原村地域福祉センター内  
TEL 0266-79-7228 FAX 0266-79-7093

ホームページ Find us on



<http://www.haramura-syakyou.or.jp/>

# 社協だより

No.56 令和2年5月  
原村社会福祉協議会



共に支え合い

誰もが住みやすい  
地域を創る



- ★ 令和2年度のごあいさつ組織表
- ★ 予算報告・事業紹介
- ★ 事業のご報告・地域活動
- ★ お知らせ



# 原村社会福祉協議会 令和2年度がスタートしました！



## 令和2年度のあいさつ

原村社会福祉協議会  
会長 清水 澄

日頃から原村の皆様には、原村社会福祉協議会へのご理解ご協力を戴いておりますこと深く感謝致します。社協では、村民の皆様の福祉向上と幸福実現のために、行政と協力して種々の事業を展開していますが、年々社会生活が複雑化し、問題は多くなっています。多岐にわたる需要のなかで、目下の課題は、高齢化と共に自動車の運転が出来なくなる人たちが増えていることです。介護認定を受けている人などは社協で行う移送サービスを利用できますが、そうでない人はこれを利用できません。そういう人たちの送迎付同行支援をするために『送迎サポートねこの足』が、ボランティア団体として設立されました。何とか使い勝手の良いシステムを作り上げなければならないと思っています。多様な平常業務も抜かりなく、皆様のハッピー増進に努めて行く所存です。今年度も引き続き宜しくお願い致します。

令和2年5月



## 事務局長退任のあいさつ

前事務局長  
清水 正巳

福祉も介護もわからなくて来ましたが、職員諸先輩に助けていただき、また、利用者・住民の皆様より助言をいただき3年の長きにわたり社会福祉協議会で事務局を務めさせていただきました。思い起こせば原村で、誰でも立ち寄れる「おいでなして原宿」をオープンすることができました。これは(株)宮坂建設様よりレストラン「原宿」をお借りして地域福祉活動あるいはボランティア活動の拠点として、男のレコード鑑賞、編み物教室、健康麻雀などを介護予防の一環として行ってきました。また、毎週木曜には、ワンコインランチが人気となり、多世代が交流できる居場所になりました。笑顔で親切なデイサービスセンター。丁寧なホームヘルプサービス。優しい地域活動支援センターなど、住民の皆様にも親しまれてきました。「広げよう夢・育てよう福祉の心」を理念として、今後も原村住民と地域福祉活動にまい進されることをお願いして私の退任のあいさつに代えさせていただきます。ありがとうございました。



## 事務局長 就任のあいさつ

事務局長 北原 一幸

この度、4月1日付けで原村社会福祉協議会事務局長に就任いたしました北原一幸と申します。社会福祉協議会設立以来、多くの皆様に多大なるご支援をいただいていることにつきまして、心より感謝申し上げます。また運営の一旦を担う立

場に赴任したことは、大変光栄に感じるとともに、責任の大きさに身の引き締まる思いです。清水前事務局長の後任としては、はなはだ微力非才の身ではありますが、原村社協のモットー「笑顔・親切・丁寧」を原点に人にやさしい社会福祉協議会を目指して全力を尽くしたいと思っています。引き続き、皆さま方のご支援とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

4月から社協の仲間になりました。  
よろしくおねがいします！



事務局次長  
宮坂 隆



居宅介護支援事業所  
有賀 恩美

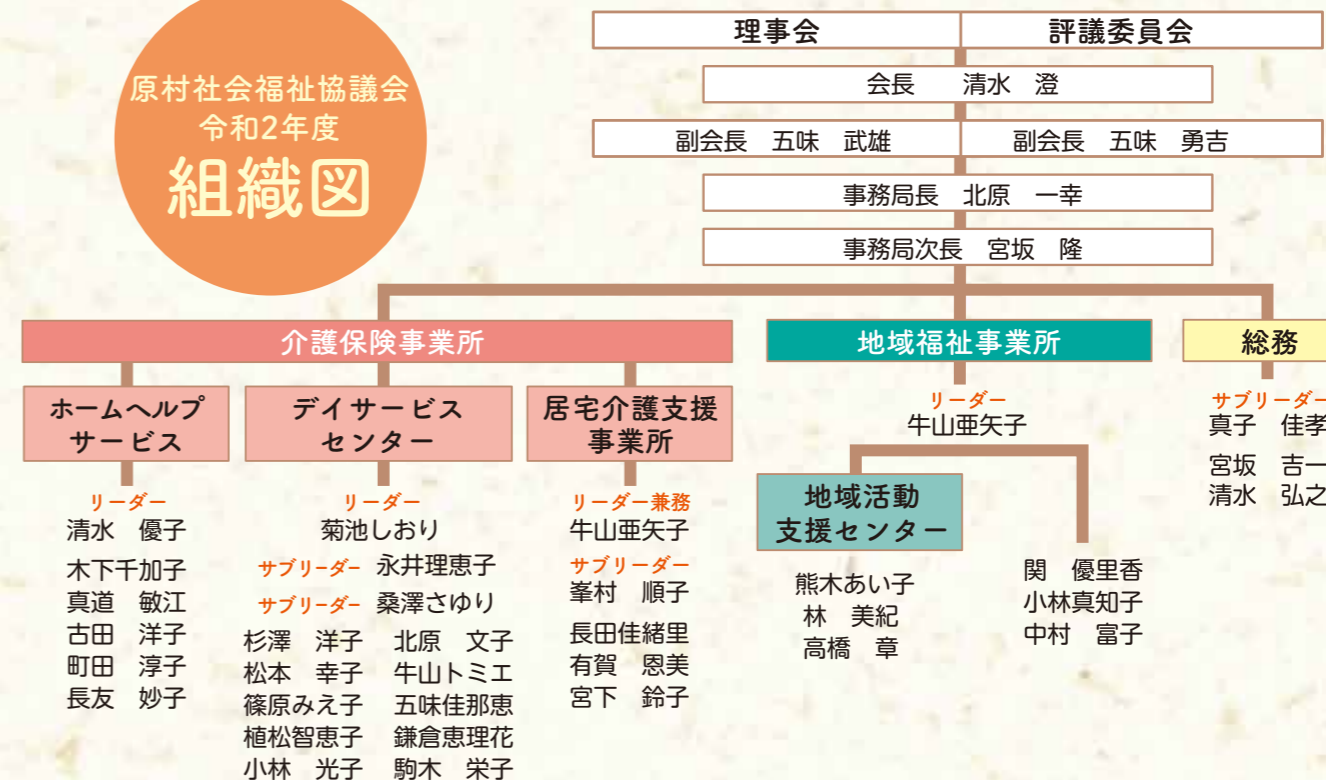


デイサービスセンター  
五味佳那恵



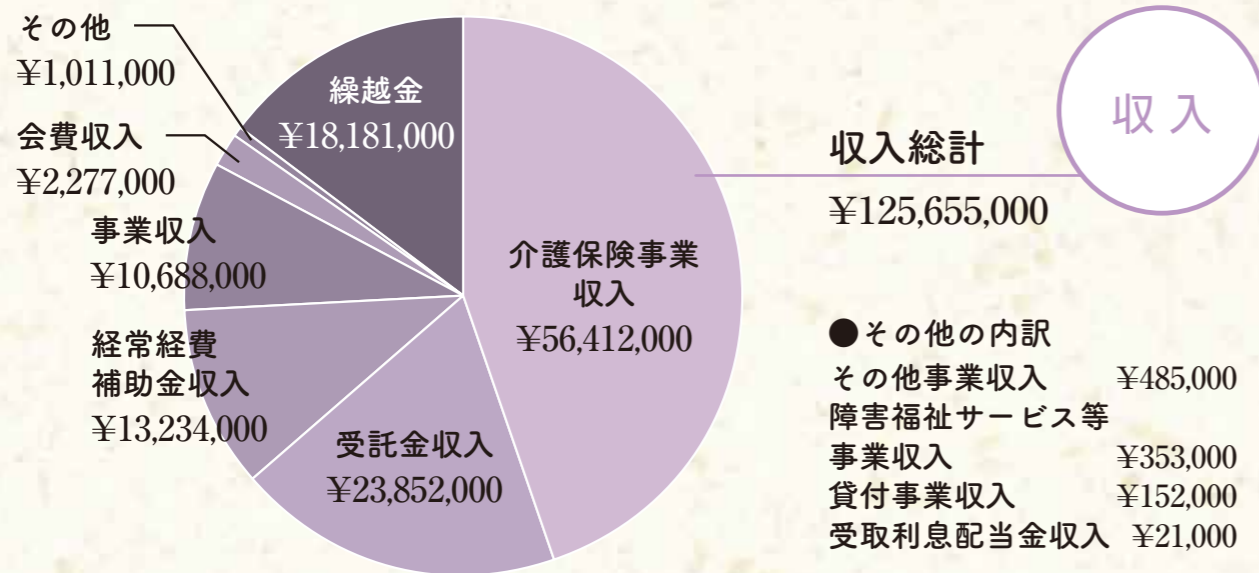
ホームヘルプサービス  
長友 妙子

## 原村社会福祉協議会 令和2年度 組織図

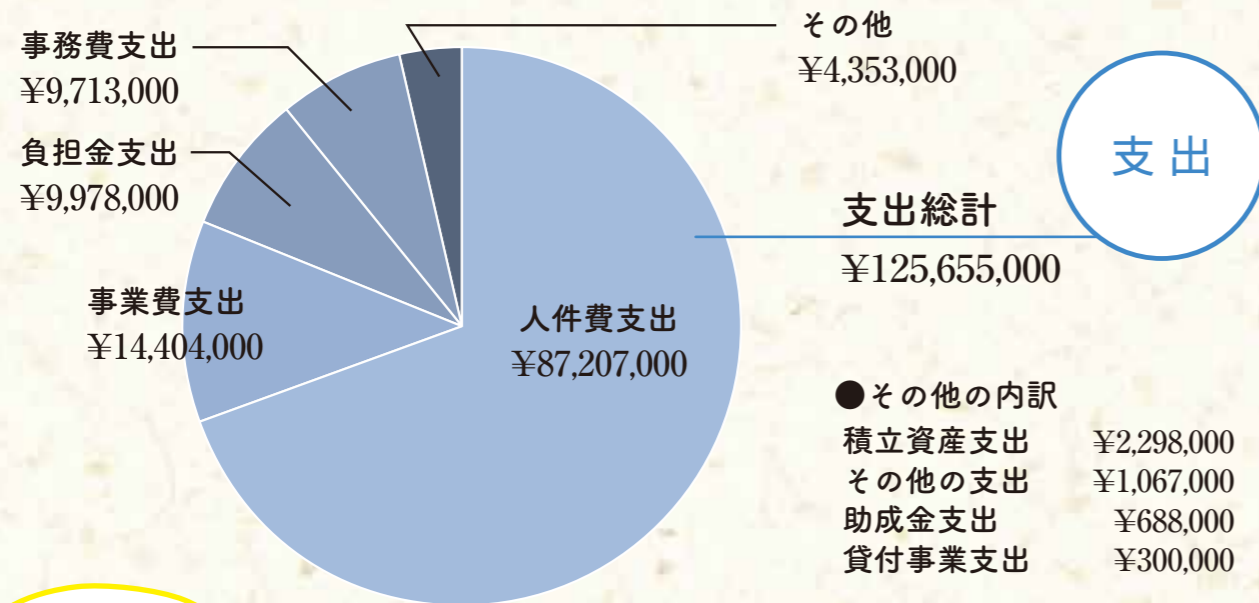




## 令和2年度 原村社会福祉協議会 予算



●その他の内訳  
 其他事業収入 ¥485,000  
 障害福祉サービス等事業収入 ¥353,000  
 貸付事業収入 ¥152,000  
 受取利息配当金収入 ¥21,000



●その他の内訳  
 積立資産支出 ¥2,298,000  
 その他の支出 ¥1,067,000  
 助成金支出 ¥688,000  
 貸付事業支出 ¥300,000

事業のごあんない

### 介護保険事業

『デイサービスセンター』や『活きがいサロンひばり』では、体操やレクリエーションを通じて利用者さんが楽しみながら体を動かし身体機能の低下を予防します。『ホームヘルプサービス』では、利用者さんとの信頼を深め、希望に沿ったきめ細やかなサービスを提供します。また『居宅介護支援事業所』では、介護に関する相談、介護サービスがスムーズに利用できるよう連絡、調整などを行います。



## 地区サロンの推進

高齢者や障がい者がいきいきと暮らせる地域づくりのため、地区サロンの相談、活動を支援します。また、体操サロン『いずみ』や、包括支援センターの依頼による『いきいきサロンほっこり』『運動サロンほっこり』に協力します。



## 1人暮らしの会食会

村内にお住まいの65歳以上の1人暮らしの方を対象とした会食会を開催いたします。北部、中部、南部地区と普段はなかなか顔を合わせることができない方々の交流の場となっています。毎年、趣向をこらしたレクリエーションも楽しんでいます。



## 原村災害時住民支え合いマップの更新

役場保健福祉課より、委託されている『原村災害時住民支え合いマップ』の更新作成を行います。令和2年度は、5地区が対象となっています。平時から地域で支え合える顔の見える関係につなげます。



令和2年度のイベント、サロン等の開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期や中止になる可能性がございます。ご理解とご協力をお願い致します。

問い合わせ：原村社会福祉協議会 ☎0266-79-7228



老若男女・地区を問わず  
誰でも使える楽しい場

おいでなして  
原宿

## おいでなして原宿の運営

多世代交流の場として、様々なイベントを開催しています。また社協のコーディネーターを配置し、地域の困りごとなどの相談窓口にもなっています。

## オレンジカフェの開催



認知症の人とその家族を支援するオレンジカフェを毎月第4金曜日に、レストランオルゴールにて開催しています。誰でも気軽に参加でき、情報交換の場・憩いの場となっています。



# 社協な日々

## 事業のご報告

農閑期、多くの方にご参加いただきました！



↑第8回元気塾／介護用品の使い方を実演で紹介

### 元気塾 第7回

## 大人の福祉教室 『車いす体験』

障がいについて理解するきっかけとして取り組んでいる『信州あいサポート運動』について学び、参加者同士で実際に車イスを操作しました。世界初といわれる、脱着式けん引車いすの体験もし障害物を乗り越える際、介助者にかかる負担が軽減される感覚を体験しました。



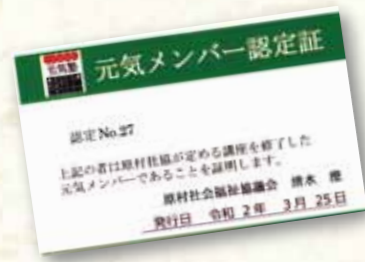
### 元気塾 第8回

## ケアマネジャーさんと学ぶ！ 介護保険の活用方法

様々な福祉用具、介護食など、業者さんの説明を受け、参加者の皆さんも興味津々でした。



## 人生 あっぱれ！ 元気塾



第9回の講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、大変申し訳ありませんでした。

令和元年度は8回の講座の中で、2回以上参加された方26名に元気リーダー認定証を郵送させていただきました。全8回の講座で延べ253名の参加がありました。ありがとうございました。

## 映画鑑賞会と トークセッション

認知症患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願いします。』2018年に話題となった映画の鑑賞会を開催。昼の部では、原村診療所の奥知久先生と認知症と家族の会諏訪地区『あざみの会』世話人の小笠原裕子さん、鎌田晴之さんとトークセッションを行いました。昼の部では150名、夜の部では55名の参加があり、村内の皆さんの認知症に対する関心の高さが伺えました。



## 親子レクリエーション事業

静岡県久能山東照宮で初詣を行い、ロープウェイや日本平夢テラスからの景色を楽しみました。



## 有酸素運動と 脳トレーニング 教室

農作業等での肩こり、腰痛をやわらげたりする新聞棒を使ったストレッチ運動や、学習療法士の五味勇吉さんによる認知症予防の脳トレーニングを昨年12月より各地区にて行いました。

